東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	国語	科目名	国語演習	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	文学国語セレクション（東京書籍）				
使用教材	漢字ボックス（浜島書店）、評論速読トレーニング1500（数研出版）				

教科の目標

【 知　識　及　び　技　能 】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	単元　評論「文学の未来」 【知識及び技能】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文学作品とテクスト、読者の関係について筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って文学作品を読む意義についてまとめる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文学作品とテクスト、読者の関係について筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って文学作品を読む意義についてまとめようとしている。	○	○	○	5
		・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○			○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	単元　評論「演技する私」 【知識及び技能】・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。	○	○	○	8
		・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○			○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
２学期	単元　小説「山月記」 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使おうとする。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	5
		・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○			○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	単元　小説「こころ」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・　人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・　人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○	○	○	8
		・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○			○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
３学期	単元　詩歌「硝子の駒－短歌抄」 【知識及び技能】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。	○	○	○	9
	学年末考査						○	○		1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	歴史総合　近代から現代へ　改訂版（山川出版社）				
使用教材	授業プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	A 単元　アジア諸地域の繁栄と日本 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・諸資料から18世紀の東アジアにおける社会と経済の特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・諸資料を読みとくことで、近世の中国社会と経済の特徴について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商業ルートの発達の地図と資料を組みあわせて理解をしようとしている	○		○	5
1学期中間	B 単元　ヨーロッパ経済の動向と産業革命、中国の開港と日本の開国 【知識及び技能】 産業革命に始まるヨーロッパと東アジアの情勢の変容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命に始まるヨーロッパと東アジアの情勢の変容について、他の事象と比較し、考察・表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命に始まるヨーロッパと東アジアの情勢の変容について、その歴史的な意義を追求しようとしている	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解しているか。 ・大西洋三角貿易を展開したイギリスが技術革新へと向かったことを理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしているか。 ・産業革命による人々の生活の変化を追究しようとしているか。		○	○	8
1学期中間	定期考査			○	○		1
1学期期末	C 単元　アメリカ独立革命とフランス革命 【知識及び技能】 ・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アメリカ独立革命がその後の世界にあたえた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化を理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・フランス革命がその後の世界にあたえた影響を多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしているか。	○	○	○	8
1学期期末	D 単元　明治維新と諸改革 【知識及び技能】 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
1学期期末	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 単元　明治維新と諸改革、日本の産業革命 【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 　ペリー来航以降の国政の変化のなかで、政治参加の範囲が広がりを見せたことを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 日本の立憲国家の成立過程の特徴を欧米の事例の学習を振り返りながら比較の視点を用いて整理し、当時、欧米からなされた評価の意味や課題を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家の形成について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	○	○	○	5
2学期中間	F 単元　帝国主義・帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について深く、追究しようとしているか。	○	○	○	8
2学期中間	定期考査			○	○		1
2学期期末	G　単元　第一次世界大戦とロシア革命 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしているか。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	H 単元　経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・世界恐慌の発生の原因・過程・結果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ドイツの拡張政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのように対応していったのかを追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしているか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
３学期	I 単元　第二次世界大戦とその後の世界 【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際情勢について、理解している 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際情勢について、情報を比較・表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦前後の国際情勢について、理解している	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 　第二次世界大戦勃発の背景と大戦の推移、連合国の形成状況などの展開について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 第二次世界大戦が、大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景と大戦の推移を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦が大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景と大戦の推移について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。				9
	学年末考査						1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年・組	３年１・２・３・４組				
使用教科書	新高等保健体育				
使用教材					

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・ 運動を継続する意義，体の構造，運動の原則 ・ 体つくり運動の行い方，体力の構成要素， 実生活への取り入れ方	・自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する	・勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にし，フェアなプレイを心掛ける ・相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・ひとりひとりの違いを大切にし、互いに高めあうようにする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A 単元 【理由付けする・関連づける】 （オリエンテーション） 体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 【具体化する・構造化する】 （身体つくり運動・体力テスト） 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。 （水泳） 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。	オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト 水泳	【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組めているか③ 正しい態度で話を聞けているか③ 授業のルールを理解し守ることでできているか③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組めているか②③ 安全に配慮して行動することができる①②③ 体の使い方が適切にできているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	25
２学期	【具体化する・構造化する】 （水泳） 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようにする。 （ソフトボール） 用具の使い方など安全に配慮して行動する ボールの投げ方をスムーズに行うことができる バッティングがスムーズにおこなうことができる （バスケットボール） 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団的技能	武道（柔道） 水泳 バドミントン サッカー 卓球 ソフトボール 陸上競技（長距離走）	主体的に取り組めているか③ 正しい態度で話を聞けているか③ 授業のルールを理解し守ることでできているか③ 相手を尊重する態度で取り組めているか①②③ 状況に応じた攻防が出来ているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①② ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 相手に配慮したパスを出すことができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	30
３学期	【具体化する・構造化する】 （バスケットボール） 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団的技能 【理由付けする・関連付ける】 （体育理論）運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。	陸上競技（長距離走） 体育理論	【観点】 公正な態度で試合ができるか②③ 安定したペースでより速く走ることができるか①② マラソン大会を完走できるか①②③ 運動やスポーツの意義を理解できているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する	○	○	○	15

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	MY WAY English Communication Ⅲ（三省堂）				
使用教材	DataBase AVAIL				

教科の目標

【知識及び技能】	様々な学習活動を通して、英語でのコミュニケーションに必要な文法知識や語彙を蓄え、受信・発信するための技能を高める。
【思考力、判断力、表現力等】	様々な話題や課題について、習得した知識や技能を生かし、自らのアイディアや意見を英語で表現し他者と共有する。
【主体的に学習に取り組む態度】	様々な学習活動に取り組む中で、自身の課題を自覚し、辞書等を活用しながらより良い能力を養おうとする。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言語や文化、社会、科学技術に関する題材を通して、幅広いトピックに関する基本的な語彙や表現を身に付けられる。目的や状況に応じて、必要な情報を峻別し理解することができる。	言語や文化、社会、科学技術に関する題材を通して、状況や要点、また論理展開を理解することができる。題材に関して、自らの考えを明瞭に述べることができる。	言語や文化、社会、科学技術に関する題材を通して、知らない単語や文構造について、援助を得ながら理解しようとする。題材に関して、自分自身の経験や社会のありように照らして考察することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　Strategy 1&2 【知識及び技能】 対話やニュース、ブログや新聞記事を聞いたり読んだりすることで、それぞれの題材に関する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・会話やニュースの聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	A 単元　Strategy 3&4 【知識及び技能】 対話や講義、記事や発表内容を聞いたり読んだりすることで、それぞれの題材に関する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・会話や講義・発表の聞き取り、記事や発表原稿の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	A 単元　Strategy 5&6 【知識及び技能】 対話や講義、科学雑誌掲載を想定した記事を聞いたり読んだりすることで、それぞれの題材に関する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・会話や講義の聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	A 単元　Strategy 7&8 【知識及び技能】 対話やプレゼンテーション、記事やブログを聞いたり読んだりすることで、それぞれの題材に関する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・会話や発表の聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
2学期	A 単元　Unit 2 Lesson 1 【知識及び技能】 お金を使わない生活をしている人についてのプレゼンテーションを聞き取る。「値段のないカフェ」についての新聞記事を読み、関連する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・プレゼンテーションの聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	A 単元　Unit 2 Lesson 2 【知識及び技能】 シャボン玉を使った実験についての会話を聞き取る。ニホニウムについての科学雑誌用記事を読み、関連する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・実験についての会話の聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	A 単元　Unit 2 Lesson 3 【知識及び技能】 お茶に関する講義を聞き取る。お茶に関する講義の内容を読み、関連する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・プレゼンテーションの聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	15
	A 単元　Unit 2 Lesson 4 【知識及び技能】 ミウラ折りについての会話を聞き取る。折り紙についてのプレゼンテーションの内容を読み、関連する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・実験についての会話の聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
3学期	A 単元　Unit 3 Lesson 8 【知識及び技能】 昼寝についての会話を聞き取る。学校での昼寝時間導入についての討論の内容を読み、関連する語彙・表現や知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に関して自らの考えを明瞭に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 音読やQ&A等の理解確認問題への取り組み等を通じて、自分に足りない語彙や文法知識を認識する。	・実験についての会話の聞き取り、記事の読み取り ・教科書、プリント教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	様々な様式・形態の文章や音声を読み取る・聞き取ることができるか。 それらの内容について、批判的視点をもって思考し表現できるか。 与えられた課題を締め切りまでに取り組んでいるか。	○	○	○	15
	学年末考査								○	○		1

授業時数合計　105

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語演習	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	ジーニアス総合英語 27、Active Listening 4				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の文法的知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の文法的知識を身に付ける。	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［やり取り］	話［発表］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元：Lesson 18～19 【知識及び技能】分詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】分詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】分詞を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・分詞 ・副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	B 単元：Lesson 11～12 【知識及び技能】受動態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】受動態を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】受動態を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・受動態 ・副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
2学期	A 単元：Option 13～14 【知識及び技能】否定文について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】否定文を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】否定文を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・さまざまな否定 ・副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
	B 単元：Option 15～16 【知識及び技能】強調・倒置・挿入・省略・同格・名詞構文・無生物主語について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】強調・倒置・挿入・省略・同格・名詞構文・無生物主語を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】強調・倒置・挿入・省略・同格・名詞構文・無生物主語を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・強調、倒置、挿入、省略、同格、名詞構文、無生物主語 ・副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	C 単元：Option 6～7 【知識及び技能】接続詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】接続詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】接続詞を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・接続詞 ・副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	D 単元：Option 8～10 【知識及び技能】前置詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】前置詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】前置詞を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・前置詞 ・副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	5
	E 入学試験対策 【知識及び技能】これまで学んできた文法事項について正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】これまで学んできた文法事項を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】これまで学んできた文法事項を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・入試問題	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
3学期	A 入学試験対策 【知識及び技能】これまで学んできた文法事項について正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】これまで学んできた文法事項を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】これまで学んできた文法事項を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	・入試問題	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	学年末考査								○	○		1

授業時数合計　70

令和８年度　年間授業計画

教科名	国語	科目名	入試国語	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	新しい共通テスト国語対策問題集　桐原書店　　小説速読トレーニング標準　数研出版				

教科の目標

【知識及び技能】	文章の構造（段落構成、論理展開、主張と根拠など）を把握するための基本的技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	文章の内容を的確に読み取り、筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。複数の情報や資料を比較・整理し、自分の考えを形成する力を身につける。
【主体的に学習に取り組む態度】	入試問題や演習に積極的に取り組み、自ら課題を見つけて改善しようとする姿勢を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章構造や文脈を把握するための読解の基本技能を身につける。論説文・説明文・物語文・詩歌など、文章の種類ごとの特徴や表現技法を理解する。 ・資料や図表を読み取り、文章の内容と照らし合わせて情報を整理・活用できる	文章の要旨や筆者の主張を論理的に読み取る力を養う。 ・複数の情報を比較・整理し、適切に解釈・判断する力を高める。 ・設問の意図に応じて、根拠を明確にした記述ができる表現力を育成する。	自ら課題を見つけ、継続的に読解・演習に取り組む姿勢を養う。 ・誤答分析や復習を通して学習の改善を図る力を育てる。 ・読書や言語活動に主体的に関わり、国語力を高めようとする態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　評論演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	5
	B単元　評論演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	B単元　小説演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	8
	B単元　小説演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2学期	E単元　共通テスト演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	5
	F単元　私大テスト演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	G単元　共通テスト演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	8
	H単元　共通テスト演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3学期	F単元　私大テスト演習 【知識及び技能】 文章の構造を把握するための基本的技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張や意図を論理的に捉える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 入試問題や演習に積極的に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		資料や図表も含めた文章の情報を整理・活用できる。論理的に文章を読み取り、筆者の主張や意図を的確に理解できる。複数の情報を比較・整理し、根拠に基づいた自分の考えを適切に表現できる。課題を自ら見つけ、継続的に学習や演習に取り組む姿勢がある。誤答分析や復習を通して改善を図ることができる。 □	○	○	○	9
	学年末考査						○	○		1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	国語	科目名	教養古典	単位数	2
対象学年・組	第３学年　２・３・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	古典常識・文学史まとめノート（筑摩書房）				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 『伊勢物語』、習俗 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えようとしている。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	5
	B 『平家物語』、源氏と平氏 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えること。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えようとしている。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 『土佐日記』、習俗 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えようとしている。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	D 『徒然草』 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉える。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えようとしている。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2学期	E 『万葉集』、旧国名 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	5

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	F 『奥の細道』 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	G 『雨月物語』 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	H 古典文学史（国学・芸能） 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3学期	I 漢文（中国の史書、詩人、文章家） 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代との違いや共通点を考えながら、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	9
	学年末考査						○	○		1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	国語	科目名	小論文	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	小論文チャレンジノート（第一学習社）、現代文記述問題攻略ノート習得編（数研出版）				

教科の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A 小論文の基礎 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	5
	B 文章の要約・意見文作成 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目 的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けること。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目 的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けること。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 資料読解 【知識及び技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	8
	D 課題別小論文 【知識及び技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	 書	 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	E 課題別小論文 【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組合せなどを工夫して，伝えたいことを明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組合せなどを工夫して，伝えたいことを明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	5
	F 資料読解 【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	G 課題別小論文 【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	8
	H 資料読解 【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3学期	I 総まとめ 【知識及び技能】 言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会的な課題や身近な問題に関心をもち、自分の考えを深めながら主体的に文章表現に取り組もうとする。	○	○	○	9
	学年末考査						○	○		1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	地理探究	単位数	4
対象学年・組	第３学年　１・２・４組				
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）・ 標準高等地図（帝国書院）・新詳地理資料COMPLETE 2026				
使用教材	授業プリント				

教科の目標

【 知 識 及 び 技 能 】	現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解すること。
【思考力、判断力、表現力等】	現代世界の地域構成について位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現すること。
【主体的に学習に取り組む態度】	授業を始めとする教科の活動で、しっかりと取り組むことにより、上記の【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力】で記載した内容について、学び、身につけようとする姿勢を高めること。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
自然地理学・人文地理学の内容を踏まえ、これに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。	自然地理学・人文地理学の内容を踏まえ、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。	自然地理学・人文地理学の内容を踏まえ、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	A 単元　地形 【知識及び技能】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
1学期中間	B 単元　気候[前半](気候因子) 【知識及び技能】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
1学期中間	定期考査			○	○		1
1学期期末	C 単元　気候[後半](ケッペンの気候区分と各地域) 【知識及び技能】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
1学期期末	D 単元　農林水産業及び、世界のエネルギー分布・エネルギー、鉱産資源 【知識及び技能】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業及び、世界のエネルギー分布の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業及び、世界のエネルギー分布の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】農林水産業及び、世界のエネルギー分布について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業及び、世界のエネルギー分布の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業及び、世界のエネルギー分布の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】農林水産業及び、世界のエネルギー分布について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
1学期期末	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 単元　工業・第3次産業、観光通信貿易 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期中間	F 単元　人口・村落・都市、生活文化と宗教 【知識及び技能】人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期期末	G 単元　現代世界の諸地域(アジア諸国) 【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	H 単元　現代世界の諸地域(アフリカ・欧米) 【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
３学期	共通テストを目標とした問題演習	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等					18
	学年末考査						1

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	公民	科目名	政治・経済	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組　【選択】				
使用教科書	高等学校　政治・経済（第一学習社）				
使用教材	公共、政治・経済集中講義（旺文社）				

教科の目標

【知識及び技能】	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公民的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公民的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	・政治や政治権力の意味とその役割について，理解している。 ・法の意義と機能について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について，理解している。 ・国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて，多面的・多角的に考察し，表現している。	第１編　現代日本の政治・経済の諸課題 第１章　現代日本の政治・経済 第１節　日本国憲法と現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・政治や政治権力の意味とその役割について，理解している。・法の支配や立憲主義の意味と意義について，理解している。 【思考・判断・表現】・法の意義と機能について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
1学期中間	・基本的人権が確立した背景や経緯について，理解している。 ・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・新しい人権が主張されるようになった背景や，新しい人権の具体的内容について，理解している。 ・人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか，理解している。 ・権利と義務との関係について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・民主政治の考え方と，議院内閣制や大統領制の特徴について，理解している。 ・よりよい民主政治のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国会の地位と構成について，理解している。 ・法律はどのようにして成立するのか，理解している。 ・国会の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の内閣と国会の関係について，理解している。 ・内閣総理大臣と内閣の権限について，理解している。 ・今後の行政の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。	③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・基本的人権が確立した背景や経緯について，理解している。・新しい人権が主張されるようになった背景や，新しい人権の具体的内容について，理解している。・人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか，理解している。・民主政治の考え方と，議院内閣制や大統領制の特徴について，理解している。・国会の地位と構成について，理解している。・法律はどのようにして成立するのか，理解している。・日本の内閣と国会の関係について，理解している。・内閣総理大臣と内閣の権限について，理解している。 【思考・判断・表現】・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について，多面的・多角的に考察し，表現している。・権利と義務との関係について，多面的・多角的に考察し，表現している。・よりよい民主政治のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。・国会の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。・今後の行政の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
1学期中間	定期考査			○	○		1
1学期期末	・司法権の独立と日本の裁判制度について，理解している。 ・国民の司法参加のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	⑨裁判所の機能と司法制度 ■諸課題へのアプローチ 「現代政治のあり方」 第２節　望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ 「主権者としての政治参加のあり方」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・司法権の独立と日本の裁判制度について，理解している。・地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度について，理解している。・政党の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】・国民の司法参加のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。・日本の政党政治や選挙の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。・地方自治における住民の権利と住民運動の意義について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組み態度】・「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
1学期期末	定期考査			○	○		1
2学期中間	・財政の機能としくみについて，理解している。 ・租税の種類やその特徴について，理解している。 ・財政における国と地方の役割分担について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきと金融機関の役割について，理解している。 ・日本銀行の金融政策とその影響について，理解している。 ・現在の金融をめぐる動向とその課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・金融を通した経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第４節　持続可能な財政および租税のあり方 ①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ 「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」 第５節　金融を通した経済活動の活性化 ①金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ 「資金の流れと起業における資金調達のあり方」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・財政の機能としくみについて，理解している。 ・租税の種類やその特徴について，理解している。・金融のはたらきと金融機関の役割について，理解している。・日本銀行の金融政策とその影響について，理解している。 【思考・判断・表現】・財政における国と地方の役割分担について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。・現在の金融をめぐる動向とその課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・金融を通した経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組み態度】・「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
2学期中間	・日本経済における産業構造の変化について，理解している。 ・現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 ・日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・労働三法の内容について，理解している。 ・現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の社会保障制度について，理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第６節　経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ 「格差の理由とその対策」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・日本経済における産業構造の変化について，理解している。・現在の日本経済の現状と課題について，理解している。・労働三法の内容について，理解している。・日本の社会保障制度について，理解している。 【思考・判断・表現】・日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。・現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。・日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。・経済活動と福祉の向上との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組み態度】・「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
2学期中間	定期考査			○	○		1
2学期期末	・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 ・諸課題の探究にあたって，日本社会の動向に着目したり，国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	第２章　現代日本の諸課題の探究[選択] 1 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 2 地域社会の自立と政府 3 多様な働き方・生き方を可能にする社会 4 産業構造の変化と起業 5 歳入・歳出両面での財政健全化 6 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 7 防災と安全・安心な社会の実現 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・諸課題の探究にあたって，日本社会の動向に着目したり，国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 【思考・判断・表現】・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。　【主体的に学習に取り組む態度】・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	・21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 ・国際社会の多極化や国際協力について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際法と国内法の違いや，国際法の種類や特徴について，理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて，理解している。 ・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について，理解している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて，国際連合はどのような役割を強化するべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか，理解している。 ・紛争当事者の変化や，平和的解決のための取り組みについて，理解している。 ・核兵器廃絶のために，どのような努力がなされてきたのか，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際法の果たす役割について，国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて，将来，国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，	第２編　グローバル化する国際社会の諸課題 第１章　現代の国際政治・経済 第１節　国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。・国際法と国内法の違いや，国際法の種類や特徴について，理解している。・さまざまな国際裁判とそのしくみについて，理解している。・勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。・国際連合の機能と主要機関の役割について，理解している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか，理解している。・紛争当事者の変化や，平和的解決のための取り組みについて，理解している。 【思考・判断・表現】・国際社会の多極化や国際協力について，多面的・多角的に考察し，表現している。・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。・今日の国際情勢の変化を受けて，国際連合はどのような役割を強化するべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・核兵器廃絶のために，どのような努力がなされてきたのか，多面的・多角的に考察し，表現している。・国際法の果たす役割について，国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて，将来，国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について，理解している。 ・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・比較優位の考え方や国際分業の利点について，理解している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 ・国際収支統計の基本的な構成について，理解している。 ・国際収支の動向をもとに，日本の対外経済取引の現状について，考察し，表現している。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて，理解している。 ・日本の対ドル為替相場の推移と，日本経済の動向について，理解している。 ・さまざまな国際経済機関の役割や課題について，理解している。 ・地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題について，考察し，表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。 ・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第２節　国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 ■諸課題へのアプローチ 「日本の国際貢献のあり方」 第３節　相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の現状と課題」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について，理解している。・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について，理解している。・比較優位の考え方や国際分業の利点について，理解している。・国際収支統計の基本的な構成について，理解している。・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて，理解している。・日本の対ドル為替相場の推移と，日本経済の動向について，理解している。・さまざまな国際経済機関の役割や課題について，理解している。・国際経済における日本の地位について，理解している。 【思考・判断・表現】・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。・国際収支の動向をもとに，日本の対外経済取引の現状について，考察し，表現している。・地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題について，考察し，表現している。・国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。・「国際経済において求められる日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	学年末考査						1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	単位数	4
対象学年・組	第３学年　１・２組				
使用教科書	新編　数学Ⅲ（数研出版）				
使用教材	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ⅲ（数研出版）・ 新課程　チャート式　解法と演習　数学Ⅲ（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察した	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期中間	A 第1章「関数」 分数関数や無理関数の性質を理解し，それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また，関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し，事象の考察に活用できるようにする。	指導項目 ・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・分数関数$y=(ax+b)/(cx+d)$ を$y=k/(x-p)+q$の形に変形し，漸近線を求めてグラフをかくことができる。 ・無理関数$y=\sqrt{ax+b}$を$y=\sqrt{a(x-p)}$の形に変形し，グラフをかくことができる。 ・グラフを利用することで，分数不等式，無理不等式を解くことができる。 ・逆関数，合成関数の定義や求める手順を理解し，種々の関数の逆関数，合成関数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・分数関数のグラフと直線の共有点の座標を，連立方程式の実数解に読み替えることができる。 ・無理不等式の解を，グラフと直線の上下関係に読み替えることができる。 ・逆関数の定義から，逆関数の定義域・値域や性質を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分数不等式の解の意味を考え，グラフを用いて考察しようとする。 ・逆関数，合成関数の考え方に興味・関心を示し，具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	14
	B 第2章「極限」第1節「数列の極限」 数列の極限の概念を理解し，様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については，その極限と各項の極限との関係を理解し，正しく考察できるようにする。	指導項目 ・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・収束する数列の極限値の性質を理解し，それを用いて，数列の極限が求められる。 ・無限等比数列の収束・発散を利用して，様々な数列の極限を求めることができる。 ・無限級数の和とは，部分和の作る数列の極限であることを理解し，無限級数の収束，発散を調べられる。 【思考力・判断力・表現力】 ・数列の式の変形が容易でない場合，「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる。 ・無限等比級数の収束，発散を，既習である等比数列の和の極限を調べることで考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・不定形の数列の式を，不定形を解消するように工夫して変形しようとする。 ・無限等比数列について，公比の値によって丁寧に場合分けし，極限を調べようとする。 ・無限級数の和の性質について理解し，それを用いて無限級数の和を求めようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
１学期期末	C 第2章「極限」第2節「関数の極限」 数列の極限と関連させて関数の極限について理解し，関連して関数の連続性についても理解するとともに，それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	指導項目 ・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・不定形を解消するなど，関数の式を適切に変形することで，関数の極限を求めることができる。 ・簡単な関数の$x\to\pm\infty$のときの極限を求めることができる。 ・定義に基づいて，様々な関数の連続性，不連続性を判定することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・極限の等式を成り立たせる必要条件を求めて，その十分性を確認することで関数の式の係数を決定することができる。 ・不定形を解消するように工夫して式を変形し，関数の極限を求めることができる。 ・直観的に中間値の定理を理解し，それを用いて方程式の実数解の存在を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・不定形の関数の式を，不定形を解消するように工夫して変形しようとする。 ・「はさみうちの原理」を用いて極限を求める方法に，興味・関心をもつ。	○	○	○	16

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期期末	D 第3章「微分法」 微分係数や導関数の定義を理解し，導関数についての様々な性質や公式を導き，それらを導関数の計算に活用できるようにする。 また，導関数の定義や公式を適用して，いろいろな関数の導関数を導き，それを用いて関数が微分できるようにする。また，陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし，それらを事象の考察に活用できるようにする。	指導項目 ・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・いろいろな関数の導関数 ・第n次導関数 ・曲線の方程式と導関数 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・連続性が微分可能性の必要条件ではあるが十分条件ではないことを理解している。 ・導関数の性質，積の導関数，商の導関数，合成関数の導関数，逆関数の微分法を理解し，種々の導関数の計算に利用することができる。 ・三角関数の導関数を理解し，三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。 ・方程式F(x，y)＝0を関数とみて，合成関数の導関数を利用して微分することができる。 ・媒介変数tで表された関数の導関数を，tの関数として表すことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・微分係数の2通りの表し方を理解し，その図形的意味を考察することができる。 ・導関数を，微分係数から得られる新しい関数として理解することができる。 ・対数微分法を利用して，複雑な関数を微分について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分係数の図形的意味を考察しようとする。 ・様々な導関数の性質や計算方法に興味をもち，具体的な問題に取り組もうとする ・自然対数の底eを考える必要性に興味をもち，考察しようとする。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 第4章「微分法の応用」第1節「導関数の応用」 導関数を，接線，関数の増減，グラフ などに活用できるようにするとともに，積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	指導項目 ・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・微分係数の意味を理解しており，接線の方程式を求めることができる。 ・平均値の定理と，その図形的意味を理解し，具体的にcの値を求めることができる。 ・導関数を利用して，関数の極値が求められる。 ・変曲点の定義を理解し，変曲点が求められる。 【思考力・判断力・表現力】 ・接線に直交する条件と，直線の方程式の公式から，法線の方程式の公式を考えることができる。 ・平均値の定理を利用して「導関数の符号と関数の増減」の関係を証明する方法を，理解することができる。 ・第2次導関数の符号と導関数の増減の関係を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・F(x，y)＝0で表された曲線の接線の方程式を，陰関数の微分法を利用して求めようとする。 ・存在定理である平均値の定理に興味をもち，図形的意味を考察しようとする。 ・関数の増減や極値の問題を，導関数を用いて考察しようとする。	○	○	○	16
2学期中間	F 第4章「微分法の応用」第2節「いろいろな応用」 関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また，点の運動や近似式についても理解し，導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。	指導項目 ・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・導関数を利用して，不等式を証明することができる。 ・直線上や平面上を運動する点の速度，速さ，加速度の定義を理解し，点の座標が与えられたときにそれらを求めることができる。 ・導関数を利用して，種々の関数の近似式を作り，近似値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・方程式f(x)＝aの実数解の個数を，関数y＝f(x)のグラフと直線y＝aの共有点の個数に読み替えて考察できる。 ・導関数の意味から，点の位置を表す関数の導関数が速度，第2次導関数が加速度を表すことを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・方程式や不等式を関数的視点でとらえ，解決しようとする。 ・直線上を運動する点の速度・加速度を基に，平面上を運動する点の速度・加速度を考察しようとする。 ・導関数を利用して，1次の近似式を考察しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期期末	G 第5章「積分法とその応用」第1節「不定積分」 様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え，それをもとに不定積分を求められるようにする。	指導項目 ・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・不定積分の定義や性質を理解し，それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。 ・被積分関数の形の特徴から，置換積分法や部分積分法を利用して，不定積分を求めることができる。 ・様々な工夫によって被積分関数を変形することで，不定積分を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・微分法の逆演算として，不定積分を計算することができる。 ・合成関数の微分の逆演算として，置換積分法を理解することができる。 ・積の微分の逆演算として，部分積分法を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単に不定積分の計算ができないとき，被積分関数の特徴から置換積分や部分積分を利用しようとする。 ・不定積分の公式が適用できるように式変形を工夫しようとする。	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	H 第5章「積分法とその応用」第2節「定積分」 様々な関数の定積分を求められるようにする。また，定積分を面積として捉え，様々な事象の考察に活用できるようにする。	指導項目 ・定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・定積分の定義や性質を理解し，それを利用して種々の関数の定積分を計算できる。 ・定積分の置換積分法，部分積分法を理解し，それを利用して複雑な関数の定積分を計算できる。 ・上端，下端が変数xである定積分で表された関数の扱い方を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考えて，定積分の計算を考察することができる。 ・積分区間が原点対称のときの偶関数，奇関数の定積分の計算を，図形的に理解することができる。 ・不等式に現れる式の図形的意味を考えることで，定積分を利用して不等式の証明を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・置換積分法により，複雑な関数の定積分を求めることに興味・関心を示す。 ・曲線で囲まれた部分の面積を微少な長方形で近似する積分の基本的な考え方に興味・関心をもつ。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
３学期	I 第5章「積分法とその応用」第3節「積分法の応用」 定積分を活用して，面積，体積，曲線の長さなどを求められるようにし，またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	指導項目 ・面積 ・体積 ・道のり ・曲線の長さ 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。 ・媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を，置換積分の考えで計算して求めることができる。 ・立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し，体積を求めることができる。 ・回転体の体積を求める方法を理解し，回転体の体積を求めることができる。 ・定積分を用いて，曲線の長さを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・定積分が，図形の計量に関して有用であることを認識している。 ・x軸やy軸を軸とする回転体の断面は円となることを理解し，回転体の体積について考察することができる。 ・座標平面上の点の座標が媒介変数で表されているとき，点が動く道のりは，その点が描く曲線の長さに等しいことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・立体の体積を計算するには断面積を表す関数を積分すればよいことに興味・関心をもち，考察しようとする。 ・体積V(x)が断面積S(x)の１つの不定積分であることに興味・関心をもち，考察しようとする。 ・曲線の方程式が媒介変数表示や，y＝f(x)の形で与えられているとき，曲線の長さが定積分を用いて表されることに興味・関心をもち，活用しようとする。	○	○	○	16

授業時数合計　140

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学Ｃ	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	新編　数学Ｃ（数研出版）				
使用教材	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ｃ〔ベクトル，複素数平面，式と曲線〕（数研出版） 新課程　チャート式　解法と演習　数学Ｃ〔ベクトル，複素数平面，式と曲線〕（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期中間	A 第1章「平面上のベクトル」第1節「ベクトルとその演算」 【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示 ・ベクトルの内積 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベクトルの演算法則を考察する ・平面図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・三角形の面積 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・ベクトルの和、差、実数倍の定義を理解し、図示したり計算したりできる。 ・ベクトルの平行条件を理解し、平行なベクトルを求めることができる。 ・ベクトルの成分表示の仕組みを理解し、具体的なベクトルを成分表示できる。また、そのベクトルの大きさを求めることができる。 ・ベクトルの内積の定義を理解し、内積を求めることができる。 ・成分表示された２つのベクトルのなす角を、内積を用いて求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・ベクトルの和、差、実数倍の定義をもとに、それらを組み合わせたベクトルの図示ができる。 ・点の座標とベクトルの成分の関係を，座標平面上の図形の問題に活用できる。 ・内積の性質を用いて，等式を証明したり，ベクトルの大きさやなす角を求めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベクトルの演算に興味をもち，数式の演算法則との類似点を考察しようとする。 ・ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。	○	○	○	8
	B 第1章「平面上のベクトル」第2節「ベクトルと平面図形」 【知識及び技能】 ・位置ベクトル、ベクトルの成分表示 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・位置ベクトル 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・ベクトルを点の位置ベクトルで表すことができる。 ・内分点，外分点の位置ベクトルを求めることができる。 ・三角形の重心の位置ベクトルを表す公式を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・位置ベクトルを活用して，図形の性質が考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・線分ABをm：nに内分する点の位置ベクトルを求める過程を参考に，m：nに外分する点の位置ベクトルを，mとnの大小関係に関わらず自ら求めようとする。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
１学期期末	C 第1章「平面上のベクトル」第2節「ベクトルと平面図形」 【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示 ・ベクトルの内積 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベクトルの演算法則を考察する ・平面図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示 ・円のベクトル方程式 ・直線のベクトル方程式の応用 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・線分の内分点・外分点を位置ベクトルで表す公式を，実際の図形に適用できる。 ・直線のベクトル方程式について，媒介変数を用いて表すことができる。 ・通る1点と法線ベクトルから直線が定まることを理解し，具体的に直線の方程式を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・位置ベクトルを活用して，3点が一直線上にあることを証明できる。 ・ベクトルの内積を活用して，図形の性質を証明できる。 ・点が線分AB上に存在する条件を活用して，点Pの存在範囲を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。 ・ベクトルを用いて円の性質を考察する意欲がある。 ・直線のベクトル方程式を積極的に活用しようとする。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期期末	D 第2章「空間のベクトル」 【知識及び技能】 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できること 【思考力、判断力、表現力等】 ・空間図形の性質を見出したり、多面的に考察したりする ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・空間図形において，ベクトルの和や差を考えることができる。 ・平行六面体におけるベクトルを，和の形に表すことができる。 ・ベクトルの成分表示について，平面上のベクトルの拡張になっていることを理解し，ベクトルが等しくなるように成分を定めたり，成分表示されたベクトルの大きさを求めたりすることができる。 ・平面上のベクトルの内積の性質は，空間においても同様に成り立つことを理解している。 ・位置ベクトルの一意性を活用して，直線と平面の交点の位置ベクトルを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・空間のベクトルが3つのベクトルの線形和で1通りに表される理由について，平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることから説明できる。 ・空間における図形を，1つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。 ・球面と平面が交わってできる図形を，連立方程式の解の集合として考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間のベクトルの成分表示について，平面上のベクトルの成分表示の拡張として捉えようとする。 ・四面体の重心に興味をもち，その性質を位置ベクトルで考察しようとする。 ・座標平面上の図形の方程式について改めて正しく理解し，座標空間についても同じ考え方で図形の方程式について考察しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 第3章「複素数平面」 【知識及び技能】 ・複素数平面と複素数の極形式、図形的な意味 【思考力、判断力、表現力等】 ・複素数の演算や累乗根などの意味を考察する ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形 ・複素数平面上の3点の位置関係 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・複素数平面上で，実軸，原点，虚軸に関して対称な点を表す複素数が，もとの複素数に対してどのような数であるか，理解している。 ・複素数の絶対値と複素数平面上の2点間の距離を求めることができる。 ・複素数の積，商の絶対値，偏角の性質を理解し，それらを求めることができる。 ・ド・モアブルの定理を理解し，複素数のn乗を求めることができる。 ・原点以外の点を中心として回転した点を表す複素数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・複素数の和，差，実数倍の，複素数平面における図形的意味を理解し，説明できる。 ・共役複素数や－zなどを極形式でどのように表すか，その定義から考察できる。 ・1のn乗根の求め方をもとに，一般の複素数のn乗根を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数がa＋biとは別の形で表せることに興味をもち，それらの違いや共通点を自ら見出そうとする。 ・極形式の有用性を理解し，複素数の乗法の図形的意味を理解しようとする。 ・図形の問題を，複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期期末	G 第4章「式と曲線」第1節「2次曲線」 【知識及び技能】 ・放物線、楕円、双曲線 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標及び極方程式 【思考力、判断力、表現力等】 ・放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察する ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 ・2次曲線の接線の方程式 ・2次曲線の性質 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・放物線の標準形について理解し，放物線の概形をかいたり焦点や準線を求めたりできる。また，条件から放物線の方程式を求めることができる。 ・焦点の座標などから，楕円の方程式を求めることができる。 ・双曲線の標準形について理解し，双曲線の概形をかいたり焦点や頂点，漸近線を求めたりできる。 ・x，yの2次式を変形して，2次曲線の概形を考えることができる。 ・2次曲線の接線の方程式の一般形について理解し，接点が与えられたときに接線を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・軌跡の考え方を用いて，放物線の方程式を導くことができる。 ・軌跡の考え方を用いて，楕円の方程式を導くことができる。 ・焦点がy軸上にある双曲線の方程式について，焦点がx軸上にある双曲線をもとに考察できる。 ・2次曲線と直線の共有点を連立方程式の解と捉え，共有点の個数について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・焦点がy軸上にある楕円の方程式について，焦点がx軸上にある楕円をもとに考察しようとする。 ・複雑な2次曲線の方程式を変形することにより，焦点や準線などを導こうとする。 ・2次曲線を，離心率eと1との大小をもとに，統一的に捉えよ	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	H 第4章「式と曲線」第2節「媒介変数表示と極座標」 【知識及び技能】 ・放物線、楕円、双曲線 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標及び極方程式 【思考力、判断力、表現力等】 ・放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察する ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・媒介変数表示された曲線の方程式を求めることができる。 ・円や楕円、双曲線を媒介変数表示できる。 ・極座標による表示について理解し，点の極座標を求めたり，極座標が与えられた点の位置を求めたりできる。 ・点の座標について，直交座標と極座標を相互に変換できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・条件から点の座標を1つの文字で表し，それを曲線の媒介変数表示と捉えることで，その点が描く曲線を求めることができる。 ・媒介変数表示された曲線の平行移動について，点の平行移動をもとに考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲線の媒介変数表示について，具体的に点をプロットしていくことで，どのような曲線か考察しようとする。 ・双曲線の媒介変数表示について，具体的に確かめようとする。 ・サイクロイドについて，具体的な点をプロットするなどして，媒介変数表示や曲線の概形を考察しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
３学期	I 第4章「式と曲線」第2節「媒介変数表示と極座標」 【知識及び技能】 ・放物線、楕円、双曲線 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標及び極方程式 【思考力、判断力、表現力等】 ・放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察する ・事象を数学的に捉え問題解決に活用する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・2次曲線を表す極方程式 ・コンピュータの利用 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人１台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・円や直線を極方程式で表すことができる。また，極方程式で表される曲線を図示することができる。 ・平面上の曲線について，x，yの方程式と極方程式を相互に変換できる。 ・媒介変数表示された曲線や極方程式で表される曲線を，コンピュータを用いて描くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・直交座標と極座標の関係性を理解したうえで，点の座標や方程式を相互に変換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次曲線の極方程式について，離心率eと1との大小をもとに，統一的に捉えようとする。 ・媒介変数表示や極方程式で表された曲線をコンピュータで描き，考察することに興味・関心をもつ。	○	○	○	4

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	数学	科目名	入試数学Ⅰ・Ａ	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	新課程　［書き込み式］　ジュニア演習数学Ⅰ・Ａ　受験編（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、二次関数、図形の性質、図形と計量、場合の数と確率、データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に捉えて目的に応じて適切に変形する力、関数関係に着目して事象の特徴を表・式・グラフを関連付けて考察する力、図形の構成要素間の関係に着目して性質を見いだし、図形の性質や計量について論理的に考察・表現する力を養う。また、不確実な事象に着目して確率の性質に基づき事象の起こりやすさを判断する力やデータの傾向に着目して適切に分析し考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養い、数学演習の場面で生かす。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	数と式、二次関数 【知識及び技能】 数と式、二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的に捉えて目的に応じて適切に変形する力、関数関係に着目して事象の特徴を表・式・グラフを関連付けて考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 式の展開・因数分解 根号を含む式の計算 1次不等式 2次関数のグラフ ・教材 新課程[書き込み式] ジュニア演習数学Ⅰ・A 受験編 ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・式の形の特徴に着目し、展開・因数分解や置き換えなどを用いて式を適切に変形・処理できる。 ・根号を含む式の計算や分母の有理化など、基本的な計算技能を身に付けている。 ・不等式や絶対値の意味を理解し、1次不等式や絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・平方完成を用いて2次関数の特徴（軸・頂点）を捉え、条件から式を決定しグラフを表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・式の置き換えや整理などにより見通しをよくし、計算や因数分解を効率的に行っている。 ・根号・絶対値・不等式などについて一般化や適切な処理を行い、問題解決に活用している。 ・身近な問題を数式（特に1次不等式）に帰着させて考察している。 ・2次関数について、式とグラフを関連付けて多面的に捉え、平行移動などの性質を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の変形や整理の方法について、よりよい解法を自ら考えようとしている。 ・展開・因数分解や対称式などの性質に関心をもち、理解を深めようとしている。 ・不等式やその活用、日常との関連に関心をもち、主体的に考察しようとしている。 ・2次関数や放物線の性質（平行移動・対称移動・決定条件など）に興味をもち、自ら探究しようとしている。	○	○	○	13
	中間考査			○	○		1
1学期期末	数と式、二次関数、図形の性質 【知識及び技能】 数と式、二次関数、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に捉えて目的に応じて適切に変形する力、関数関係に着目して事象の特徴を表・式・グラフを関連付けて考察する力、図形の構成要素間の関係に着目して性質を見いだし、図形の性質について論理的に考察・表現する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 2次関数の最大・最小 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式 平面図形(1) ・教材 新課程[書き込み式] ジュニア演習数学Ⅰ・A 受験編 ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・平方完成や定義域の考え方を用いて、2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・判別式やグラフとの関係を理解し、2次方程式の解の個数やx軸との共有点を求めることができる。 ・2次不等式や連立不等式を解くことができる。 ・図形の基本定理（外心・内心・重心、チェバ・メネラウスなど）を理解し、線分の比や長さを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・定義域やグラフの変化に着目して、2次関数の最大値・最小値を考察している。 ・判別式やグラフと関連付けて、解の個数や2次式の符号、不等式の解を統合的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係や、事象への応用に関心をもち、考察しようとしている。 ・三角形の性質や線分比（内分・外分、外心・内心・重心、チェバ・メネラウスなど）に興味をもち、積極的に探究している。	○	○	○	15
	期末考査			○	○	○	1
2学期中間	図形の性質、図形と計量 【知識及び技能】 図形の性質、図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係に着目して性質を見いだし、図形の性質や計量について論理的に考察・表現する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 平面図形(2) 空間図形 三角比 正弦定理・余弦定理 数学と人間の活動(1) ・教材 新課程[書き込み式] ジュニア演習数学Ⅰ・A 受験編 ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・円の基本性質や内接四角形・接線・方べきの定理・共通接線を理解し、角度や線分の長さを求めることができる。 ・空間における直線の位置関係や角、正多面体の性質を理解し、構成要素や条件を説明できる。 ・三角比の相互関係を活用し、角の範囲に応じて値や角度を求めることができる。 ・正弦定理・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・具体的な事象を三角比の問題として捉え、適切に立式して考察している。 ・三角比を鋭角から鈍角へ拡張し、その性質を関連付けて考察している。 ・正弦定理や比の関係を用いて、三角形の角や辺の関係を総合的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間図形や三角比の拡張について関心をもち、積極的に理解を深めようとしている。 ・図を活用しながら、自ら考え問題解決に取り組もうとしている。 ・日常や社会の事象に三角比や定理を活用しようとする態度をもっている。	○	○	○	13
	中間考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
２学期期末	数と式、図形と計量、場合の数と確率 【知識及び技能】 数と式、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に捉えて目的に応じて適切に変形する力、図形の構成要素間の関係に着目して性質を見いだし、図形の性質や計量について論理的に考察・表現する力を養う。また、不確実な事象に着目して確率の性質に基づき事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 図形の計量 集合と命題 場合の数、順列 組合せ 確率(1) 数学と人間の活動(2) ・教材 新課程［書き込み式］ ジュニア演習数学Ⅰ・A 受験編 ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・三角比を用いた面積公式や応用を理解し、三角形の面積や立体の体積を求めることができる。 ・集合の基本概念（空集合・共通部分・和集合・補集合・ド・モルガンの法則）や、命題（必要条件・十分条件、逆・対偶・裏）を理解し、真偽を判断できる。 ・順列・円順列・重複順列や組合せの公式を理解し、条件に応じて総数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・三角形や空間図形において、適切な条件に着目して三角比を活用し、考察している。 ・集合の図示（ベン図など）や論理に基づき、命題の証明方法（対偶・背理法など）を適切に選択している。 ・順列・組合せや確率において、見方を工夫し、既習事項と関連付けて問題を解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・命題の証明方法やその有用性に関心をもち、主体的に証明に取り組もうとしている。 ・順列・組合せの違いや適用場面に興味をもち、具体的な事象に活用しようとしている。	○	○	○	15
	期末考査			○	○	○	1
３学期	場合の数と確率、データの分析 【知識及び技能】 場合の数と確率、データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目して確率の性質に基づき事象の起こりやすさを判断する力やデータの傾向に着目して適切に分析し考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 確率(2) 確率(3) データの分析 ・教材 新課程［書き込み式］ ジュニア演習数学Ⅰ・A 受験編 ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・独立試行・反復試行や条件付き確率、乗法定理などを用いて、様々な確率を求めることができる。 ・範囲・四分位範囲、分散・標準偏差などの定義と意味を理解し、データの散らばりを求め比較できる。 ・相関係数の定義を理解し、データの相関の程度を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・条件付き確率と既習の確率の違いを、図や表を用いて整理し考察している。 ・散布図や相関係数を用いて、データの相関を適切に捉え、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・独立試行や反復試行、条件付き確率の考え方に関心をもち、積極的に活用しようとしている。 ・統計的な見方（代表値や相関など）に関心をもち、身近な事象に結び付けて考察しようとしている。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○	○	1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	数学	科目名	入試数学Ⅱ・Ｂ・Ｃ	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	新課程　大学入学共通テスト対策／基本と演習　数学Ⅰ・Ａ＋Ⅱ・Ｂ・Ｃ　標準演習　PLAN　100（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数学Ⅱ・Ｂ・Ｃの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しなおすとともに，それらの数学的概念原理を基礎的問題演習場面に生かすことができ、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	変化の規則性に着目し，関数概念、微分積分などで事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化する力、ベクトルを利用する力、これらの力を問題演習の場面でも生かす力を身に着ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養い、数学演習の場面で生かす。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期中間	A 単元：式と証明　複素数と方程式 【知識及び技能】 ・基本的な式、複素数、方程式の概念を用い、問題演習利用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複素数の概念、方程式と複素数についての基本概念を正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・式と証明、複素数と方程式の基本問題 ・解と係数の関係 ・多項式の割り算、剰余の定理、因数定理 ・高次方程式 ・ ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・複素数の相等の考え方を用い、方程式を満たす実数ｘ、ｙを求めることができる。 ・多項式の累乗の展開式を二項定理用い展開し、単項式の係数を求める。 【思考力・判断力・表現力】 ・相加平均、相乗平均の関係式を利用し、多項式の最小値を求める。 ・1つの２次方程式に解と係数の関係の考えを用い、与えられた解の条件に適する2次方程式をつくる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多項式の割り算、剰余の定理、因数定理を適宜使い分けることによって、複雑な多項式のに関する入試問題等に取り組む ・係数に文字を含む3次方程式の解が1つ与えられたとき、いくつかの原理を応用し、文字の値を正しく導く。	○	○	○	5
	B 単元：図形と方程式 【知識及び技能】 ・点、座標、直線、円などに関する集学的概念を用い、問題演習に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・点、座標、直線、円などに関する数学的表現法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・図形と方程式の基本問題 ・直線に対して対称な点 ・軌跡 ・領域 ・領域と最大最小 ・ ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・座標平面上の点に関する条件から、直線や円の方程式を正しく求める。 【思考力・判断力・表現力】 ・直線に関して対称な点を内分や外分の考えを用いて求める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・座標平面上点Pが条件満たしながら動いた軌跡を定義域、値域を正しく把握しながら、入試問題題材にして正しく求める。 ・経済学への応用分野であることを知る。線形計画法を領域と最大・最小の観点から理解する。	○	○	○	8
	定期考査（中間考査）			○	○		1
１学期期末	C 単元：三角関数 【知識及び技能】 ・三角関数の基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角関数の基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・三角関数の基本問題 ・三角関数のグラフ ・三角方程式の解と個数 ・三角関数の合成 ・三角関数の最大・最小 ・単位円上の点と三角関数 ・三角不等式 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・三角関数の基本となる重要公式を、問題演習の場面で適切に利用できる。 ・三角関数のグラフが書いたり、読みとったりでき、周期の変化による外形の変化を正しく説明でき、問題演習に生かせる。 【思考力・判断力・表現力】 ・三角関数を用いた方程式（三角方程式）解の個数を正しく求められる。 ・三角関数を合成させることにより方程式の解を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角関数を合成させることにより与えられた関数の最大値・最小値を求める。 ・単位円を用いることに関心を持ち単位円を用いて問題解決の楽しさを知る。 ・三角不等式の解法を身につける。	○	○	○	8
	D 単元：指数関数・対数関数 【知識及び技能】 ・指数関数・対数関数の基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・指数関数・対数関数の基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】　・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・指数関数・対数関数の基本問題 ・指数・対数の計算、指数関数 ・対数関数のグラフ ・桁数、小数首位 ・指数関数・対数関数の対称性、増減 ・指数方程式と対数方程式の連立方程式 ・対数不等式 ・指数関数の最大・最小 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・指数関数・対数関数の演算が正しくできる。 ・指数関数・対数関数のグラフが正しく書けたり、読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・整数の桁数、小数における小数首位を指数関数・対数関数を応用することで正しく求められる。 ・指数方程式、対数方程式の連立方程式の解法を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対数不等式の解法に挑戦する。 ・これまでに学習した関数の最大最小の手法を指数関数の最大。最小を求める場面に応用する。	○	○	○	7
	定期考査（期末考査）			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期中間	E 単元： 微分法・積分法 【知識及び技能】 ・微分法、積分法の基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・微分法、積分法の基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・微分・積分法の基本問題 ・導関数と接戦 ・関数の増減・極地 ・図形と最大最小 ・接線の本数 ・定積分を含む関数 ・放物線と２接線で囲まれた図形の面積 ・3次曲線と接戦で囲まれた図形の面積 ・3次関数の面積など ・曲線と接戦で囲まれた図形の面積 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・微分・積分法の基本となる重要公式を、問題演習の場面で適切に利用できる ・導関数と接線、関数の増減・極値を正しく求められる。 【思考力・判断力・表現力】 ・座標平面上の１点から曲線へ引ける接線の本数を正しく求められる。 ・放物線と2直線とで囲まれた図形の面積を正しく求める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3次曲線と接線とでで囲まれた図形の面積を正しく求める。 曲線と接線とで囲まれた図形の面積を正しく求める。	○	○	○	5
	F 単元：数列 【知識及び技能】 ・数列の基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・数列の基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・数列の基本問題 ・等比数列、等差数列 ・和が与えられた数列 ・等差数列、漸化式と数列 ・群数列 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 数列の基本問題」を等差数列、等比数列、数列の和の公式を正しくあてはめて正しく解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・与えられた漸化式から数列の一般項を正しく求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・群数列などの解法の仕組みに関心を持ち、進んで問題演習に取り組む。	○	○	○	8
	定期考査（中間考査）			○	○		1
2学期期末	G 単元：統計的推測 【知識及び技能】 ・統計的推量の基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・統計的推量の基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・統計的な推量の基本問題 ・確率変数の期待値と分散 ・確率密度関数 ・正規分布、信頼区間 ・推定、仮説検定 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 期待値、分散、標準偏差等の基本概念を正しく理解し、統計的推量の基本問題を適切に解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 確率密度関数が与えられた場合に、期待値や分散が正しく求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 推定、検定の原理を正しく理解し、問題演習に正しく利用できる。・	○	○	○	8
	H 単元：ベクトル 【知識及び技能】 ・ベクトルの基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベクトルの基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・ベクトルの基本問題 ・三角形の内心、外心 ・交点と位置ベクトル ・空間とベクトルの表現 ・内積と空間図形 ・空間図形とベクトル ・座標空間内のベクトル ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・成分、内積、位置ベクトル等の概念を正しく用いてベクトルの基本問題を解くことができる 【思考力・判断力・表現力】 ・空間図形に内積、位置ベクトルを用いて問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・座標空間内の図形にベクトルを用いて問題を解くことができる。	○	○	○	7
	定期考査（期末考査）			○	○		1
3学期	I 単元： 平面上の曲線 【知識及び技能】 ・平面上の曲線の基本概念を正しく理解し、表現できる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面上の曲線の基本概念を適切に利用することによって問題演習を行う. 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題等、高度な思考を要する場面に基本概念を応用し解決しようとする姿勢を養う。	・指導事項 ・平面上の曲線と複素数平面の基本問題 ・複素数の絶対値 ・放物線と直線の共有点の個数 ・2次曲線の利用 ・複素数平面の利用 ・方程式の表す図形 ・媒介変数表示、極座標 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・複素数の絶対値、曲形式、ド・モアブルの定理および2次曲線の日本性質などの基本的性質を正しく理解し、基本問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・　2次曲線や複素数平面を利用し応用的な問題演習ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・媒介変数表示、極座標の演習問題のも挑戦できる。				9
	学年末考査			○	○		1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	物理	単位数	4
対象学年・組	第３学年　１・２・３組				
使用教科書	物理（数研出版）				
使用教材	Classi、プリント、問題集				

教科の目標

【知識及び技能】	正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動・エネルギー・電磁気についての基本的な概念や原理・法則を理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。	身近な物体の運動や電気器具の様子から問題を見いだし、実験・観察等を通して、物理的に正しく表現することができる。	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動・エネルギー・電磁気への関心を高め，それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	A 力 【知識及び技能】 力のモーメントを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 剛体にはたらく力がつりあうかを判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 剛体が回転しない条件が必要であることを理解しようとしている。	・指導事項 速度、加速度、落体運動、剛体 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 力のモーメントを計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 剛体の回転運動の方向について表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力のモーメントについての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	B 運動 【知識及び技能】 ケプラーの法則を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 重力加速度が異なる場所での運動の様子を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宇宙での運動の様子を理解しようとしている。	・指導事項 運動量、力積、円運動、単振動、万有引力 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 万有引力を計算で導くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 与えられた前提条件から物体の運動の様子を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 円運動や単振動についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
1学期期末	C 気体 【知識及び技能】 ボイルシャルルの法則を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の状態変化について判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体の定量変化について理解しようとしている。	・指導事項 ボイルシャルルの法則、気体分子の運動、気体の状態変化 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 気体の圧力・体積・温度の変化について求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 定積モル比熱と定圧モル比熱の関係を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体の状態変化についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	D 波 【知識及び技能】 波の伝わり方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 波が強め合うか弱めあうかを判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ドップラー効果について理解しようとしている。	・指導事項 正弦波、波の干渉、ドップラー効果 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 波の振動数や波長を正しく計算できる。 【思考力・判断力・表現力】 波が干渉するとき強め合うか弱めあうかを正しく判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 波や音についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 光 【知識及び技能】 写像や光路について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 回折格子やレンズを通過するときの様子を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の屈折について理解しようとしている。	・指導事項 光波、レンズ、光の回折 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 写像の位置を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 回折格子の明線の間隔の変化を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の屈折や解説についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	F 電場 【知識及び技能】 電場について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 電場の強さがどのように変化するか説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電場について理解しようとしている。	・指導事項 電場、電位、回路、半導体 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 電場をベクトル量で求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 電荷間距離と電位の関係についてグラフで表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電場や電位についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期期末	G 磁場 【知識及び技能】 磁場について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 電流と磁場の相互関係について図示しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 磁場について理解しようとしている。	・指導事項 磁場、電磁誘導、交流回路、電磁波 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 磁束密度について計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ローレンツ力がどの方向にはたらくか説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 磁場についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	H 原子 【知識及び技能】 ボーア理論について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 電子のエネルギー準位について説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子や原子について理解しようとしている。	・指導事項 電子、光子、原子、核反応 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 電子が移動するときのエネルギーの大きさについて計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 α崩壊・β崩壊のしくみを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子や原子についての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3学期	I 物理数学 【知識及び技能】 微分積分やベクトルについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの内積を何に用いるか判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルの内積について理解しようとしている。	・指導事項 微分、積分、ベクトル ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 微分積分を計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ベクトルを用いて方向と大きさを表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分積分やベクトルについての学習を主体的に取り組んでいる。	○	○	○	20

授業時数合計　140

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	入試物理基礎	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・３・４組				
使用教科書	物理基礎（数研出版）				
使用教材	Classi、プリント、問題集				

教科の目標

【知識及び技能】	正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動・エネルギー・物理量についての基本的な概念や原理・法則を理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。	身近な物体の運動や日常事象の様子から科学的な問題を見いだし、実験・観察等を通して、物理的に正しく表現することができる。	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動・エネルギー・物理単位への関心を高め，それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 運動 【知識及び技能】 運動している物体に対して、速度を計算している。 【思考力、判断力、表現力等】 物体に対して加わっている力を図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加速度と速度の関係について意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 速度、加速度、落体運動 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習	【知識及び技能】 速度や加速度の問題を正しく計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 速度や加速度のグラフを見て、どちらが速いか等を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度や加速度に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	B 力 【知識及び技能】 様々な力について、それぞれの性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ２つの力のつりあいについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力と加速度の関係の証明に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 力のつりあい、運動方程式、摩擦 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習	【知識及び技能】 運動方程式について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 運動内で加わっている力をベクトルで図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	C エネルギー 【知識及び技能】 物体の運動について力学的エネルギーを用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーの変化について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存則の証明に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 仕事、運動エネルギー、位置エネルギー ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習	【知識及び技能】 力学的エネルギーについて、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 位置エネルギーと運動エネルギーがどのようにあるか説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギーに興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	D 熱 【知識及び技能】 熱力学第一法則について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 熱と温度の関係について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱力学第一法則の計算に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 熱、エネルギー、熱運動 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習	【知識及び技能】 密閉容器における熱量の変化について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 温度がどのように変化しているかについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱やエネルギーに興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	E 波 【知識及び技能】 波の発生原理や基本事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 波の伝わるようすをグラフで表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 波のグラフの図示に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 波の運動、定常波、合成波、音波 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習	【知識及び技能】 グラフを見て、波長や振動数について答えることができる。 【思考力・判断力・表現力】 波の様子をグラフに図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 波に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	F 電磁気 【知識及び技能】 抵抗や電力について理解し、計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 電流と磁場の関係について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気回路の計算に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 電気の性質、電気抵抗、電力、磁場、交流、原子力 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用 調べ学習	【知識及び技能】 合成抵抗や電力量について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 磁場が電流に対してどの向きであるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気や磁場に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	G 物理数学 【知識及び技能】 有効数字を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 連立方程式の利用を正しく判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理に必要な数学の学習に意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 連立方程式、三角比、有効数字 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等 調べ学習	【知識及び技能】 有効数字を正しく書くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 連立方程式の変数を正しく代入できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 計算に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	H 物理演習 【知識及び技能】 物理の公式を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 公式や法則をどのように用いるか正しく判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の分野横断の課題に意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 分野横断課題 ・教材 教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等 調べ学習	【知識及び技能】 正しい知識を用いて、問題に対する解答を導くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 物理の問題に対して、どの公式を用いるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の計算問題に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○		6
	定期考査			○	○		1
3学期	I 入試対策演習 【知識及び技能】 物理を体系的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 物理の公式や法則を用いて、与えられた条件での運動の様子を図示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大学入試問題に意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 大学入試問題傾向 ・教材 プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等 調べ学習	【知識及び技能】 入試問題を正しく解答できる。 【思考力・判断力・表現力】 問題を見て、どの分野の問題であるか正しく判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の入試問題に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○		8

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4
対象学年・組	第３学年　１・２組				
使用教科書	新編　化学（数研出版）				
使用教材	リードＬｉｇｈｔ　化学				

教科の目標

【知識及び技能】	知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができているか。
【思考力、判断力、表現力等】	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。
【主体的に学習に取り組む態度】	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら学習を調整しようとしているか。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら学習を調整しようとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	A 物質の状態 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 結晶とその性質・物質の状態変化について理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 結晶とその性質・物質の状態変化について興味を持ち、理解しようとしている。	・指導事項 結晶とその性質 物質の状態変化 三態の変化とエネルギー ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 結晶とその性質・物質の状態変化の問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 結晶とその性質・物質の状態変化について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 結晶とその性質・物質の状態変化についての学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	B 物質の変化 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 気体・溶液について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体・溶液について興味を持ち理解しようとしている。	・指導事項 気体 溶液 ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ボイル・シャルルの法則・気体状態方程式・ヘンリーの法則について理解し、それを利用して計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ボイル・シャルルの法則・気体状態方程式・ヘンリーの法則について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体と溶液の学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
1学期期末	C 物質の変化 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応とエネルギー・電池と電気分解について理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応とエネルギー・電池と電気分解について興味を持ち理解しようとしている。	・指導事項 化学反応とエネルギー 電池と電気分解 ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 反応エンタルピー変化・ヘスの法則・電池の仕組みについての問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 反応エンタルピー変化・ヘスの法則・電池の仕組みについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応エンタルピー変化・ヘスの法則・電池の仕組みの学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	D 物質の変化 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応の速さとしくみについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応の速さとしくみについて興味を持ち理解している。	・指導事項 化学反応の速さとしくみ ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 反応速度についての問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 反応速度を用いて実験結果の処理などを行い、反応速度や速度定数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学反応のしくみち活性化エネルギーを用いた考え方に興味をもつ。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 物質の変化 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 化学平衡について理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡について興味を持ち、理解しようとしている。	・指導事項 化学平衡 ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 化学平衡の法則・ルシャトリエの原理・電離平衡の考え方を理解し、問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 平衡定数を用い、化学平衡における量的関係を求めることができる。ルシャトリエの原理に基づいて平衡の移動について判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡や電離平衡について興味をもち主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	F 無機物質 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 非金属元素・金属元素（I）・金属元素（II）について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 非金属元素・金属元素（I）・金属元素（II）について興味を持ち、理解しようとしている。	・指導事項 非金属元素 金属元素（I） 金属元素（II） ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 元素を分類しそれぞれの元素について理解し、問題を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 元素の分類や性質について理解し、それぞれの化学反応式を書いたり、量的計算をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの元素について興味を持ち主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期期末	G 有機化合物 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物の分類と分析・脂肪族炭化水素について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物の分類と分析・脂肪族炭化水素について興味をもち、理解しようとしている。	・指導事項 有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 有機化合物の特徴について理解している。有機化合物の分析の手順や分離と精製について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 有機化合物を炭素骨格や官能基の違いに基づいて分類することができる。与えられた実験結果から元素分析を行い、有機化合物の組成式や分子式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物の特徴や分類について興味をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	18

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	H 有機化合物 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 アルコールと関連化合物・芳香族化合物について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度 アルコールと関連化合物・芳香族化合物について興味を持ち、理解しようとしている。	・指導事項 アルコールと関連化合物 芳香族元素 ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 アルコールと関連化合物の一般式や構造式、分類について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 アルコールと関連化合物について、反応式を書くことができる。構造や性質について理解し区別することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルコールとその関連化合物について興味を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	I 高分子化合物 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物の構造と性質・天然高分子化合物・合成高分子化合物について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物の構造と性質・天然高子化合物・合成高分子化合物について興味をもち、理解しようとしている。	・指導事項 高分子化合物の構造と性質 天然高分子化合物 合成高分子化合物 ・教材 教科書・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 高分子化合物の定義や分類、構造について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 化学式や名称、構造、性質に基づいて、糖類を分類することができる。アミノ酸の構造に基づいてその性質を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 糖類・アミノ酸・核酸について興味を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	学年末考査						

授業時数合計　140

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	入試化学基礎	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・４組				
使用教科書	高等学校　化学基礎（数研出版）				
使用教材	リードLight化学基礎				

教科の目標

【知識及び技能】	正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
観察，実験などを通して，化学の原理・法則を見いだすとともに，基本的な概念を身につけている。 自ら考え，見通しをもって主体的に観察，実験を行い，化学的に探求する技能を身につけている。	身近な物質とその変化の中から問題を見いだし，研究する過程を通して，化学的に正しく判断し，的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化への関心を高め，それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	A 化学と人間生活 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・日常生活を支える物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Wwebテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
	B 物質の探究 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・物質の構造や性質，粒子の熱運動と粒子間に働く力に関する事象に関心をもち，意欲的に物質を探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質の分離や元素の確認などの実験から，単体や化合物・混合物について考察できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1学期期末	C 物質の構成粒子 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・物質を構成する原子の構造や，元素の性質に興味を持ち，元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子は原子核と電子からなっていて，価電子が物質の性質を決めていることを，推論できる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	8
	D イオン結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	イオン結晶がどのような粒子からなり，どのような力で結びついているのかを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオン結合でできた物質について，その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期中間	E 共有結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・分子結晶や共有結合の結晶がどのような粒子からなり，どのような力で結びついているのかを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分子間力や共有結合でできた物質について，その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	5
	F 金属結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・金属結晶がどのような粒子からなり，どのような力で結びついているのかを探究しようとする。。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 金属結合でできた物質について，その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期期末	G 物質量と化学反応式 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	化学変化の量的関係に興味をもち，意欲的にその関係を探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子量，分子量，式量と物質量及び化学反応式を理解し，物質量を用いた基本的な計算ができる。また，実験結果から化学変化の量的関係を考察できる。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	H 酸と塩基 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・酸･塩基，中和反応に関心をもち，それらを日常生活と関連付けて意欲的に探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
３学期	I 酸化還元反応 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して，物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち，化学が人間生活に果たしている役割について，意欲的に探究しようとする。	・燃焼や金属の溶解など，身近な酸化還元反応に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人１台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。	○	○	○	9
	学年末考査						1
					授業時数合計		70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	生物	単位数	4
対象学年・組	第３学年　２組				
使用教科書	生物（実教出版）				
使用教材	生物エブリィノート（実教出版）				

教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め，科学的な自然観を育成する。

【 知 識 及 び 技 能 】	理科に関する知識の習得や概念の理解をする。実験操作の基本的な技術を習得する。、
【思考力、判断力、表現力等】	習得した「知識・技能」を活用して単元ごとの課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。
【主体的に学習に取り組む態度】	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において粘り強く取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・生物や生物現象について，それらの基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を身につける。 ・自然界のさまざまな事象を科学的に考察する能力と，豊かな科学的素養を身につける。 ・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い，観察・実験の技能を習得する。	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い，自然を科学的にとらえられる。 ・生物現象について探究する場合に，それらを個々のレベルで分析すると同時に，全体を総合的にとらえ，表現することができる。 ・科学的に探究する方法を身につけ，それらの過程や結果及びそこから導き出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち，基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに，科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	1章　生物の進化 1節生命の起源と細胞の進化・2節遺伝子の変化と進化のしくみ 【知識及び技能】 ・生命の起源，および生物の進化の過程を地球環境の変化にも触れながら，その概要をつかませる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子の変化を引き起こす突然変異・生物の変異，進化の証拠やその要因，進化説などを理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進化について関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 最初の生物と初期の生物進化 遺伝子の変化・遺伝子の組合せの変化・進化のしくみ・実験１ ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・生命の誕生に関する仮説について理解している。 ・歴史的な進化説と現在の進化説の基本的な発想の視点を踏まえ，底流にある基本概念を把握している。 【思考力・判断力・表現力】 DNAの塩基配列に生じる突然変異が，生物の形質にどのような変化をもたらすかを見いだして理解できる。 遺伝子が分配されるしくみである減数分裂について理解し，遺伝子の変化がどのように子に伝わるかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料から進化の証拠を理解し，進化説の理解を深めようとする。	○	○	○	12
	3節　生物の系統と進化 【知識及び技能】 ・ドメインから種のレベルに至る分類の階層や，種の命名法についても具体的な例を示して把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物のもつ様々な特徴の比較から生物の系統関係が明らかになったことを具体的な例を通して考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・系統に関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 生物の系統と進化・人類の系統と進化 ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・現在の生物分類と系統を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し，表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物分類の必要性を理解し，その歴史的大分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
1学期期末	２章　生命現象と物質 １節　細胞と分子・２節　生命現象とタンパク質 【知識及び技能】 ・細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解させる。 ・タンパク質の性質および働きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・酵素の働き方の特質として基質特異性があり，温度，pHなどの影響を受けやすいことを実験を通して探究させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・細胞の分子とタンパク質に関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 細胞を構成する物質・生体膜の働きと細胞・タンパク質の構造と機能・酵素として働くタンパク質・物質の輸送や情報伝達に働くタンパク質・実験２ 生命現象とタンパク質 ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・タンパク質の基本的な構造・性質について理解し，酵素作用，物質の輸送や情報伝達などが，タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・酵素に関する実験を行い，生命現象に酵素の働きが関わっていることに気付き、実験から，酵素には最適温度や最適ｐＨがあることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主にタンパク質について関心をもち、理解しようとする。	○	○	○	16
	3節　代謝 【知識及び技能】 ・同化は主に光合成の反応、異化は呼吸の反応を理解させる。 ・同化はエネルギー吸収反応で、異化はエネルギー放出反応であり、ATPが用いられていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光合成と呼吸の反応、ATPの役割について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の体内でみられる代謝について関心をもち、取り組むことができる。	・指導事項 代謝・呼吸と発酵・光合成・実験３・実験４ ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・呼吸や光合成のしくみを理解している。 ・エネルギーの利用に際して、ATPが働いていることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して、呼吸と光合成の反応に関わるしくみを考察し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命活動に必要なエネルギーを呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期中間	３章　遺伝情報の発現と発生 1節　遺伝情報とその発現 【知識及び技能】 ・遺伝情報にしたがって特定のタンパク質が作られ、形質が発現することを理解させる。 ・細胞の分化や形態形成が起きるしくみを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子の発現調節のしくみを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発現調節について関心をもち、取り組むことができる。	・指導事項 DNAと染色体・DNAの複製・遺伝子の発現・遺伝子の発現調節 ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・メセルソンとスタールの実験結果をもとに、半保存的複製のしくみを理解している。 ・DNAが遺伝子として働くしくみと、RNAがタンパク質合成に関与していることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 遺伝子の発現調節のしくみを用語を用いて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子発現のしくみとその調節について、理解しようとしている。	○	○	○	14
	2節　発生と遺伝子発現 3節　遺伝子を扱う技術 【知識及び技能】 ・受精から発生の過程をカエルを例に挙げて、ヒトについても基本的なしくみは同じであることを理解させる。 ・バイオテクノロジーの実例を通して把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発生の実験例から、発生のしくみについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発生と遺伝子を扱う技術について関心をもって、取り組むことができる。	・指導事項 動物の配偶子形成と受精・初期発生の過程・発生のしくみと遺伝子発現・形態形成と遺伝子の発現調節・バイオテクノロジーとその応用 ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・動物の配偶子形成とその受精や発生のしくみを理解している。 ・形態形成運動や誘導などによって、からだが作られていくことを理解している。 ・バイオテクノロジーの原理や応用事例を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ショウジョウバエの頭尾軸決定に関する実験結果から、母性因子について考察し、説明できる。 ・バイオテクノロジーの発達が人間生活にどのような影響を与える可能性があるか、考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生とバイオテクノロジーについて、理解しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期期末	4章　生物の環境応答 1節　動物の反応・2節　動物の行動 【知識及び技能】 ・刺激の受容から神経の興奮とその伝達、中枢神経系の働き、反応までの流れを把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・代表例を通して動物の行動について考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・動物の反応と行動について関心をもって、取り組むことができる。	・指導事項 刺激の受容・ニューロンと興奮・神経系の働き・刺激に対する反応・生得的行動・習得的行動・実験７ ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・眼を中心とした受容器の構造と機能を理解している。 ・神経の構造、伝導伝達のしくみ、中枢神経系の働きを理解している。 ・動物の行動を具体例をもとに理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・眼の調節のしくみ、筋肉収縮のしくみ、学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の反応と行動について、理解しようとしている。	○	○	○	16

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期期末	3節　植物の成長と環境応答 【知識及び技能】 ・環境によって制御される、植物の伸長成長、発芽や花芽の形成などの現象を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光屈性のしくみの解明の過程を通じて、どのように制御されているのか、考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・植物の反応や調節などに関心をもち、取り組むことができる。	・指導事項 植物の一生と環境応答・植物の成長・開花と結実の調節・その他の環境応答・被子植物の受精と発生 ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われてることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・さまざまな実験によって、植物の伸長成長や発芽、器官形成などが制御されていることが明らかになってきたことを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の反応や調節のしくみを理解しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	5章　生態と環境 1節　個体群と生物群集・2節　生態系 【知識及び技能】 ・生物と環境との関わりについて理解させる。 ・生態系における物質生産とエネルギー効率について理解させる。 ・生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な現象から、生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを考え、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境について関心をもち、取り組むことができる。	・指導事項 個体群とその性質・個体群内の相互作用・異種個体群間の相互作用・生態系の物質生産・物質循環とエネルギーの流れ・生態系と人間生活 ・教材 教科書、副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のWebサイトの利用	【知識及び技能】 ・個体群の成長と密度効果、生物群集の構造や働きとその変動を理解している。 ・生態系の構造と働き、その平衡のしくみを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・実験結果のグラフから個体群の関係を理解することができる。 ・生態系の構造や働きを、物質循環とエネルギーの観点から考察し、表現することができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生物の生活と環境との関わり、生態系について理解しようとする。	○	○	○	18
	学年末考査						0

授業時数合計　140

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	理科	科目名	入試生物基礎	単位数	2
対象学年・組	第３学年　２・３・４組				
使用教科書	高等学校　生物基礎（数研出版）				
使用教材	改定版　生物基礎学習ノート（数研出版）				

教科の目標

【知　識　及　び　技　能】	理科に関する知識の習得や概念の理解をする。実験操作の基本的な技術を習得する。、
【思考力、判断力、表現力等】	習得した「知識・技能」を活用して単元ごとの課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。
【主体的に学習に取り組む態度】	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において粘り強く取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・生物基礎に関する事物や現象についての知識の習得や概念の理解し、問題に取り組めるようにする。 ・科学的に探究するための観察・実験操作の基本的な技術を復習する。	習得した「知識・技能」を活用して、自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，単元ごとの課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、主体的に粘り強く取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期中間	第1章　生物の特徴 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝、呼吸と光合成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識・観察などをもとに基礎的な問いに答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 生物の多様性と共通性・エネルギーと代謝・呼吸と光合成 ・教材 教科書・副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題に取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第1章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	6
	第2章　遺伝子とそのはたらき 【知識及び技能】 遺伝情報とDNA、遺伝情報の複製と分配、遺伝情報の発現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識・観察などをもとに基礎的な問いに答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 遺伝情報とDNA・遺伝情報の複製と分配・遺伝情報の発現 ・教材 教科書・副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題に取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第2章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1学期期末	第3章　ヒトの体内環境の維持 【知識及び技能】 体内での情報伝達と調節、体内環境の維持のしくみ、免疫のはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識・観察などをもとに基礎的な問いに答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 体内での情報伝達と調節・体内環境の維持のしくみ・免疫のはたらき ・教材 教科書・副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題に取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	8
	第4章　生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 植生と遷移、植生の分布とバイオーム、生態系と生物の多様性、生態系のバランスと保全について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識、映像などをもとに基礎的な問いに答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 植生と遷移・植生の分布とバイオーム・生態系と生物の多様性・生態系のバランスと保全 ・教材 教科書・副教材・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題に取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第4章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期中間	第1章から第2章の復習 【知識及び技能】 1学期に復習した内容の定着をはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 教材を中心に基礎的な問いに的確に答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、取り組むことができる。	・指導事項 生物の多様性と共通性・エネルギーと代謝・呼吸と光合成・遺伝情報とDNA・遺伝情報の複製と分配・遺伝情報の発現 ・教材 教科書・副教材・プリント・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題及び、発展的な問題などに取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第1章と第2章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	6
	第3章から第4章の復習 【知識及び技能】 1学期に復習した内容の定着をはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 教材を中心に基礎的な問いに的確に答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、取り組むことができる。	・指導事項 体内での情報伝達と調節・体内環境の維持のしくみ・免疫のはたらき・植生と遷移・植生の分布とバイオーム・生態系と生物の多様性・生態系のバランスと保全 ・教材 教科書・副教材・プリント・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題及び、発展的な問題などに取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章と第4章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期期末	第1章から第4章の復習 【知識及び技能】 これまでにに復習した内容の定着をさらにはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 基礎的な問いから発展的な問題まで答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、取り組むことができる。	・指導事項 生物の多様性と共通性・エネルギーと代謝・呼吸と光合成・遺伝情報とDNA・遺伝情報の複製と分配・遺伝情報の発現 ・教材 教科書・副教材・プリント・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題及び、大学入試問題の過去問などに取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第1章と第2章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	8
	第1章から第4章の復習 【知識及び技能】 1学期に復習した内容の定着をさらにはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 発展的な問題に答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、取り組むことができる。	・指導事項 体内での情報伝達と調節・体内環境の維持のしくみ・免疫のはたらき・植生と遷移・植生の分布とバイオーム・生態系と生物の多様性・生態系のバランスと保全 ・教材 教科書・副教材・プリント・ICT教材 ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 副教材の問題及び、大学入試問題の過去問などに取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章と第4章の内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	1年間の総まとめとして過去の共通テスト問題などを解いてみる。 【知識及び技能】 1年間の内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発展的な問題に的確に答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、取り組むことができる。	・指導事項 生物基礎の教科書の内容 ・教材 大学入試センターの過去の問題などのプリント ・一人１台端末の活用 教科書のLinkの活用など	【知識及び技能】 大学入試問題の過去問などに取り組み、ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 問題に取り組み、考え、答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 内容に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	9
	学年末考査						1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	柔道（３年選択）	単位数	2
対象学年・組	３年１・２・３・４組				
使用教科書	新高等保健体育：大修館書店				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保すること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。	後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 柔道のルールを理解する。 袈裟固・横四方固の習得。 袈裟固・横四方固・上四方固、縦四方固、肩固の習得。 うつ伏せ・四つん這いの相手への攻撃パターンの習得。 自分が仰向けの態勢からの攻撃パターンの習得。 背中合わせからの寝技乱取りができるようにする。	主体的に取り組めているか 正しい態度で話を聞けているか 授業のルールを理解し守ることでできているか 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか 相手を尊重する態度で取り組めているか 受身が正しく出来ているか 抑技が正しく出来ているか 礼法が正しくできているか 対人練習の仕方と体の操作が出来ているか	○	○	○	20
2学期	伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。	後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 袈裟固・横四方固・上四方固、縦四方固、肩固の習得。 うつ伏せ・四つん這いの相手への攻撃パターンの習得。 自分が仰向けの態勢からの攻撃パターンの習得。 背中合わせからの寝技乱取りができるようにする。 背負い投げ、大腰は、取と受の意味を理解し、技をかけられるようにする。 二人一組の対人で、崩し、体さばき、受け身を用いて投げ技を扱うようにする。	主体的に取り組めているか 正しい態度で話を聞けているか 柔道のルールを理解し守ることでできているか 相手を尊重する態度で取り組めているか 受身が正しく出来ているか 抑技が正しく出来ているか 礼法が正しくできているか 対人練習の仕方と体の操作が出来ているか ルールを理解し公正に試合が出来ているか	○	○	○	35
3学期	体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。	柔道のルールを理解し公正に立ち技の試合をすることができる。	公正な態度で試合ができるか 相手を敬い、試合をすることができたか 柔道の試合のルールを理解できたか 運動やスポーツの意義を理解できているか	○	○	○	15

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	外国語	科目名	入試英語	単位数	2
対象学年・組	第３学年　１・２・３・４組				
使用教科書	なし				
使用教材	アップリフト英語長文読解　入試演習1（Z会）, Active Listening 大学共通テスト対応リスニング（第一学習社）				

教科の目標

【 知 識 及 び 技 能 】	様々な学習活動を通して、英語でのコミュニケーションに必要な文法知識や語彙を蓄え、受信・発信するための技能を高める。
【思考力、判断力、表現力等】	様々な話題や課題について、習得した知識や技能を生かし、自らのアイディアや意見を英語で表現し他者と共有する。
【主体的に学習に取り組む態度】	様々な学習活動に取り組む中で、自身の課題を自覚し、辞書等を活用しながらより良い能力を養おうとする。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。	様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。長文を読みその題材について考えを述べられる。	入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話［やり取り］	話［発表］	書					
１学期	A 単元　リスニング問題形式１、難易度★ Lesson 1 & 3 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○			様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	B 単元　リスニング問題形式２、難易度★ Lesson 5 & 8 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	C 単元　リスニング問題形式３、難易度★★ Lesson 2 & 4 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○			様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	D 単元　リスニング問題形式４、難易度★★ Lesson 6 & 9 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
２学期	E 単元　リスニング問題形式５、難易度★★ Lesson 10 & 11 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○			様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	F 単元　リスニング問題形式６、難易度★★ Lesson 12 & 13 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	G 単元　リスニング問題形式７、難易度★★ Lesson 15 & 16 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○			様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	8
	H 単元　リスニング問題形式８、難易度★★&★★★ Lesson 18 & 7 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
３学期	I 単元　リスニング問題形式９、難易度★★★ Lesson 12 & 14 【知識及び技能】 状況によって異なるスタイルの英語の単語や表現を聞き取る。まとまった分量の英語を決められた時間内で読み終えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 状況によって異なるスタイルの英語の要点をとらえることができる。まとまった分量の英文内容を決められた時間内で理解することができる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題を期日までにこなすことができる。質問や予習・復習を通して、自分の足りない知識・技能を積極的に補おうとする。	・大学入学共通テスト対応リスニング、長文読解 ・教科書 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	様々な設定のなされている共通テスト形式の英語を聞き取ることができる。英語の長文を読み内容を理解することができる。 様々な内容・様式の英語を聞き、必要な情報や判断し要点をまとめられる。長文を読みその題材について考えを述べられる。 入試に対応できる知識・技能を身に付けるべく、教材を用いて予習・復習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	学年末考査								○	○		1

授業時数合計　70

東京都立杉並工科高等学校

令和８年度　年間授業計画

教科名	家庭	科目名	家庭科演習（３年選択）	単位数	2
対象学年・組	３学年 選択者				
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）				
使用教材	生活学Navi資料集＋成分表＋ICT　2025　（実教出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉，衣食住，保育，環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
衣食住，保育，環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　衣生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料，被服構成及び被服衛生について理解しているとともに，被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・被服製作の基礎について理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・被服製作に関する課題を発見し，その解決に向けて考察し，工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。・被服製作の基礎について自ら学び，被服の造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 衣生活と健康 １　被服材料の特徴、性能 ２　被服の管理 ３　被服製作実習 ４　衣生活の文化と知恵 ５　持続可能な衣生活 ・教材 教科書、資料集、 ワークシート 被服実習材料・用具 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料，被服構成及び被服衛生について理解しているとともに，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・被服製作の基礎について理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・被服製作に関する課題を発見し，その解決に向けて考察し，工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。 ・被服製作の基礎について自ら学び，被服の造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
2学期	B 単元　食生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活，おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について生活と環境の関わりについて理解するとともに，自己や家族の食生活の計画・管理，目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして，自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活と健康 １　食生活の課題について考える ２　食事と栄養・食品 ３　ライフステージに応じた食事計画 ４　献立と調理 ５　調理の基礎 ６　持続可能な食生活 ・教材 教科書、資料集 ワークシート、 調理実習材料・用具 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに，自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について理解し，生活と環境の関わりを踏まえて目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて，論理的に表現するなどして，自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築と，食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	20
	C 単元 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援について理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供を生み育てることの意義について考えるとともに，子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性についての問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。	・指導事項 子どもの生活と保育 １　子どもの発達と発育 ２　子どもの文化と遊び ３　子どもの生活と保育 ４　これからの保育環境 ・教材 教科書、資料集、ワークシート 保育人形、模型等 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援について理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・子供を生み育てることの意義について考えるとともに，子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性についての問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3学期	D　単元　住生活と住環境 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴，防災等の安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに，適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて考察し，防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。	・指導事項 住生活と住環境 １　住空間の構成と平面計画 ２　持続可能な住生活 ・教材 教科書、資料集、　ワークシート ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに，適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて考察し，防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

授業時数合計　70